

令和6年12月16日

(一社) 日本健康相談活動学会 会員の皆様

(一社) 日本健康相談活動学会理事長 三木とみ子
同編集委員会委員長 鎌塚優子

日本健康相談活動学会誌第20巻第2号の【特別報告】の原稿募集について

平素は本学会の活動にご協力いただき、感謝申し上げます。

さて、下記の通り日本健康相談活動学会誌第20巻第2号の【特別報告】の原稿を募集いたします。会員の皆様の実践等については是非、ご報告いただきますようお願い申し上げます。

記

1. テーマ

「健康相談活動学を実践に活かす」

2. テーマ設定の背景

一般社団法人日本健康相談活動学会は2005年に設立して以来、設立20周年を迎えました。第20巻は記念すべき特別巻であることや、2023年に本学会より「健康相談活動学—実践から理論、そして学問へ—」が発刊されたことを受け、特別報告のテーマを「健康相談活動学の学問構築のこれまでとこれから」としました。第1号のテーマは「健康相談活動学の学問構築への軌跡と展望」として、健康相談活動学の学問構築にご尽力いただいた先生方に、これまでの軌跡と学問構築後の展望について、原稿を執筆していただいています。

「健康相談活動学」の書籍発刊から約1年が経ち、日常の保健室で行われている養護実践がこの本の内容に意味づけされたり、教育現場における理論の気づきに支えられたりする実感があることと推察されます。そこで第2号では、学問構築の本質が学校現場あるいは養成教育現場で具現化されていることに関して、現職の立場から具体的場면을提示しながら述べていただき、健康相談活動学が今後の活動にどのような影響を及ぼすことが期待されるのか、実践にどう活かしていきたいと考えるのかについて原稿を依頼します。

3. 募集原稿について

- ・A4版、文字サイズ9フォント、横書き2段組で、図及び表を含めて3～5頁
- ・原稿の締め切りは2025年5月31日(土)
- ・「査読付き」とします。投稿論文とは異なり、厳重な査読はいたしません。執筆者間の調整や原稿全体の体裁、テーマとの一貫性を鑑み、編集委員から再度、執筆内容及び分量について修正の検討をいただく可能性があります。

4. 募集の流れ

- ・学会ホームページ内の「特別報告原稿応募シート」をダウンロードし、必要事項を記入の上、メールに添付し、件名「特別報告応募」で、編集委員会までお送りください。
- ・募集期間 2024年12月16日(月)～2025年1月31日(金)
- ・編集委員会で執筆者を3～4名程度決定し、個別に結果をご連絡いたします。また、執筆決定者には、2025年2月初旬に執筆依頼書と執筆要領等を送付いたします。

5. 問い合わせ先及び応募先：(一社) 日本健康相談活動学会編集委員会 edit@jahca.org